

保 健 体 育

保健体育の目標等について	
<p>【教科の目標】 心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。</p>	
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 ○体育分野の目標 [第1学年及び第2学年] (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。 (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。 (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 [第3学年] (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。 (2) 運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。 (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。 ○保健分野の目標 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	

【参考】

- 体育科、保健体育科については、その課題を踏まえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを重視し改善を図る。その際、心と体をより一体としてとらえ、健全な成長を促すことが重要であることから、引き続き保健と体育を関連させて指導することとする。また、学習したことを実生活、実社会において生かすことを重視し、学校段階の接続及び発達の段階に応じて指導内容を整理し、明確に示すことで体系化を図る。
- 体育については、体を動かすことが、身体能力を身に付けるとともに、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむことにも資することを踏まえ、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識を身に付け、生涯にわたって運動に親しむことができるように、発達の段階のまとまりを考慮し、指導内容を整理し体系化を図る。また、武道については、その学習を通じて我が国固有の伝統と文化に、より一層触れることができるよう指導の在り方を改善する。
- 保健については、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成するため、一層の内容の改善を図る。その際、小・中・高等学校を通じて系統性のある指導ができるように、子どもたちの発達の段階を踏まえて保健の内容の体系化を図る。また、生活習慣の乱れやストレスなどが健康に影響することを学ぶことが重要であり、健康の概念や課題などの内容を明確に示すとともに、心身の発育・発達と健康、生活習慣病などの疾病の予防、保健医療制度の活用、健康と環境、傷害の防止としての安全などの内容の改善を図る。特に、小学校低学年においては、運動を通して健康の認識がもてるよう指導の在り方を改善する。
- 標準授業時数
第1学年－105単位時間 第2学年－105単位時間 第3学年－105単位時間

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2 東書	第1・2・3学年	保体・725	新編 新しい保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対して求めることをチェックしたり、ストレスに適切に対処する方法について考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、部屋の空気が汚れているときの状況を発表し合ったり、水道普及率と水による感染症患者数の変化の理由を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、地震が起きたときの一次災害や二次災害を話し合ったり、夜間における犯罪被害の危険を予測したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、健康診断を受ける意義について話し合ったり、薬物の使用を思いとどまらせるための説得の方法を考えたりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 ○ 体育分野については、互いに楽しむために相手が納得できるようなルール変更を提案し合ったり、自分や友達の経験や資料をもとに、けがをしやすい部位を考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、危険を避け、安全を確保するために、それぞれの自然災害の危険を知り、事前の備えや避難の方法を考える活動 ・体育分野において、オリンピックに参加した選手数の推移や女性の参加に関する歴史、開催都市の変化を考える活動 			
内容の構成・ 排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校で学習した思春期の体の変化を振り返る学習の後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性を踏まえ、体力向上や運動技能の維持・向上、各器官の機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、保健分野については129ページで前回より約7%増、体育分野については44ページで前回より約26%増、総ページ数は173ページで前回より約11%増となっている。(B5判からAB判に変更) 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・章末資料として、助産師やスポーツ選手のメッセージを掲載している。 ・学習を深める「読み物」や「保健体育クイズ」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」、「生かそう」において、学習課題を提示している。 ・学習のヒントやポイントを伝えるキャラクターを掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭でブレインストーミングやロールプレイングなどの学習方法や留意点を掲載している。 ・一単位時間の学習内容のキーワードや解説を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	4 大日本	第1・2・3学年	保体・726	新版 中学校保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対する尊重した接し方を考えたり、見方を変えて前向きに取り組む計画を立てたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、暑いなかで運動するときを気を付けることをまとめたり、学習内容を踏まえ一酸化炭素中毒の事故を防ぐ方法を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、住んでいる地域で起こりやすい自然災害について考えたり、様々な外傷の応急手当の方法を実習したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、運動不足の影響や運動の効果などを考えたり、飲酒や薬物乱用の明確な断り方について実習をしたりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 ○ 体育分野については、運動やスポーツが行われるために必要な様々な人々のかかわり方を考えたり、いろいろな運動やスポーツにおける技術や作戦・戦術をそれぞれまとめたりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、夜間における危険な場所や要因、危険をさける行動など、犯罪被害の防止方法を考える活動 ・体育分野において、新体力テストの結果を参考にして、高めたい体力に応じた運動やスポーツの計画を立てる活動 			
内容の構成・ 排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校で学習した男女の身長伸び方の特徴を振り返る学習の後に、中学生の時期の第2発育急進期を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性和楽しさを踏まえ、豊かな人生を送り、よりよく生きる文化としてのスポーツの重要性を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、保健分野については113ページで前回より約8%増、体育分野については46ページで前回より約10%減、総ページ数は159ページで前回より約2%増となっている。 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・知識を深める関連資料を章末資料として掲載している。 ・学習内容に関連した「トピックス」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「学習を活かして」において学習方法を提示している。 ・学習内容に関連するページを「リンク」として掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各章の最初のページに学習の課題や見通しをもつための学習の流れを掲載している。 ・けがを防止するためのポイントを「注意」マークで提示している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	50 大修館	第1・2・3学年	保体・727	保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、年齢による身長の変化について考えたり、成功の経験を通して育まれた自分らしさを話し合ったりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、環境が健康に悪影響を及ぼしている身近な例を挙げたり、井戸水の汚染があった場合の健康上の影響を話し合ったりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、倒れている人を見つけたときの適切な行動を考えたり、自分と家族のための防災計画を立てたりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、たばこの広告のイメージなどを考えたり、薬物の害について話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 ○ 体育分野については、安静時の自分とマラソンランナーの心拍数の違いについて考えたり、野外活動を安全に行うために、行動ごとの危険な状況を予測したりする活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、特定の食物による食物アレルギーの症状やアドレナリン自己注射薬の使い方など応急手当の仕方を考える活動 ・体育分野において、種目を決め、仲間を思いやりながら協力して、誰もが納得して楽しめるルールをつくる活動 			
内容の 排列、 構成・ 分量・ 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、第1学年体育分野で学習した運動やスポーツの効果を振り返る学習の後に、運動不足の影響や運動と心の健康などを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの学び方を踏まえ、達成感や意欲の向上などの運動やスポーツの心への効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、保健分野については123ページで前回より約14%増、体育分野については42ページで前回より約19%減、総ページ数は165ページで前回より約3%増となっている。 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めに学習の動機付けとなる発問を掲載している。 ・欄外に、その項目に関連したインターネットページを掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Try」、「Challenge」において、学習課題を提示している。 ・各章の最後に「学習のまとめ」のページを掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の流れやマークの解説を示した教科書の使い方や学習の方法を掲載している。 ・図版の中の大事なポイントを吹き出しにして示している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	224 学研	第1・2・3学年	保体・728	新・中学保健体育
<p>取扱内容</p> <p>〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕</p>	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、望ましい発育・発達に必要なことを話し合ったり、自分の気持ちを上手に伝える言葉や表情を考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、人間の適応能力を超えた環境の例を挙げたり、身近な環境である校内の色々な場所の照度を測定したりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、日常生活の様々な場面における危険の要因を予測したり、けが人を発見した場合に通報する実習をしたりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、1日の食生活例をもとに改善方法を考えたり、たばこや酒、薬物を誘われたときの断り方を話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、バスケットボールにおける課題を解決する別の練習方法を考えたり、オリンピック・パラリンピックに対する自分なりのかかわり方を発表し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、インターネットの使用について、長時間の使用による疲労やインターネット依存による悪影響を調べる活動 ・体育分野において、スポーツが環境に及ぼす影響や環境の変化がスポーツに及ぼす影響について調べる活動 			
<p>内容の構成・ 排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校の社会科で学習した公害の原因を振り返る学習の後に、汚染物質と健康の影響や対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習したスポーツへの多様なかかわり方を踏まえ、伸びやかな自己開発の機会などのスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、保健分野については132ページで前回より約23%増、体育分野については51ページで前回より約31%増、総ページ数は179ページで前回より約23%増となっている。</p>			
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の扉で、学習内容に関連した職業や資格などを掲載している。 ・学習内容に関連した「コラム」を掲載している。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウォームアップ」、「探究」において、学習課題を提示している。 ・「活用しよう」で生活と結び付いた活動を提示している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で目標及び活動の内容など、一単位時間の学習の流れや学習方法を掲載している。 ・実習や協働学習など学習活動の種類を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい図表や配色にするなど工夫されている。 			

<保健体育の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 体育分野（体育理論）、保健分野の内容ごとのページ数及び総ページ数
- ② 発展的な学習に関する内容を取り上げている箇所数
- ③ 学習したことを活用して、さらに調べたり、考えたりする内容を取り上げている箇所数
- ④ 自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数
- ⑤ 興味・関心や学習意欲を高める内容を取り上げている箇所数
- ⑥ 体育分野と保健分野の関連を踏まえた内容の箇所数
- ⑦ 実験や実習を取り入れた学習を取り上げている箇所数
- ⑧ 緊要な課題に対応した内容を取り上げているページ数
- ⑨ 体力づくりや体力測定の方法等を取り上げている箇所数
- ⑩ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示された内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導をすることが求められていることから、発展的な学習に関する内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 知識を活用する学習活動によって思考力・判断力・表現力などを育成することが求められていることから、知識を活用した学習活動の工夫について把握する必要があるため。
- ④ 言語活動の充実によって、思考力・判断力・表現力などを育成することが求められていることから、主体的な学習を促す学習内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑤ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう指導の工夫を行うことが求められていることから、意欲的に学習に取り組むことができるような工夫について把握する必要があるため。
- ⑥ 心と体を一体としてとらえた指導の工夫が求められていることから、体育分野と保健分野を関連させた内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑦ 基礎的・基本的な知識の暗記や再現にとどまらず、思考力・判断力・表現力などの資質や能力を育成することが求められていることから、実験や実習などの学習活動の工夫について把握する必要があるため。
- ⑧ 学校における体育・健康に関する指導との関連を図り、現代的課題に対して理解を深めることが求められていることから、その記載状況を把握する必要があるため。
- ⑨ 適切な身体能力を身に付け、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が求められていることから、体力の向上に関する内容等について把握する必要があるため。
- ⑩ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者					
		東書	大日本	大修館	学研		
① 領域 (ページ数)	保健分野	心身の機能の発達と心の健康	28	24	26	26	
		健康と環境	18	16	18	22	
		傷害の防止	30	24	24	28	
		健康な生活と疾病の予防	46	39	48	46	
		その他資料等(※4)	7	10	7	10	
		総ページ数	129	113	123	132	
		割合 (%)	75%	71%	75%	74%	
	前回の総ページ数	121	105	108	107		
	増減 (%)	7%	8%	14%	23%		
	領域 (ページ数)	体育分野	運動やスポーツの多様性	11	16	10	14
			運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	15	14	18	12
			文化としてのスポーツの意義	10	10	10	12
			その他資料等(※4)	8	6	4	13
			総ページ数	44	46	42	51
割合 (%)			25%	29%	25%	28%	
前回の総ページ数	35	51	52	39			
増減 (%)	26%	-10%	-19%	31%			
総ページ数		173	159	165	179		
前回の総ページ数		156	156	160	146		
増減 (%)		11%	2%	3%	23%		
② 発展的な学習に関する内容を 取り上げている箇所数	保健分野	9	9	14	15		
	体育分野	2	6	4	1		
	合計	11	15	18	16		
③ 学習したことを活用して、さらに調べたり、考えたりする内容を 取り上げている箇所数(※1)		64	46	49	59		
④ 主体的な学習を促す内容を 取り上げている箇所数(※2)		72	92	44	103		
⑤ 興味・関心や学習意欲を 高める内容を 取り上げている箇所数(※3)		58	59	93	56		
⑥ 体育分野と保健分野の 関連を踏まえた内容の 箇所数	体育分野の記述の中に保健分野の内容が 含まれている箇所数	11	8	4	4		
	保健分野の記述の中に体育分野の内容が 含まれている箇所数	4	8	7	2		
	合計	15	16	11	6		
⑦ 実験や実習を取り入れた学習を 取り上げている箇所数		6	6	5	11		
⑧ 緊要な課題に対応した内容の ページ数	薬物乱用防止	7	4	7	6		
	医薬品に関する内容	3	2	4	3		
	後天性免疫不全症候群(エイズ)及び 性感染症	4	5	6	9		
	生活習慣病の予防	7	8	10	7		
	食育	10	5	6	4		
	防災及び二次災害によって生じる 傷害	10	6	6	12		
オリンピック・パラリンピック	13	18	10	17			
⑨ 体力づくりや体力測定の方法等 を取り上げている箇所数		6	5	5	7		
⑩ 北海道とかかわりのある内容を 取り上げている箇所数		3	2	4	4		

(※1) 調査項目③の「学習したことを活用して、さらに調べたり、考えたりする内容を
取り上げている箇所数」については、東書は「考えてみよう」、「生かそう」、大日本は「学習を活かして」、大修館は「活用」、「Question」、学研は「探究」、「活用しよう」を対象としている。

(※2) 調査項目④の「主体的な学習を促す内容を
取り上げている箇所数」については、東書は「やってみよう」、「生かそう」、大日本は「学習を活かして」、「考えよう」、大修館は「学習のまとめ」、「Try」、「Challenge」、学研は「ウォームアップ」、「活用しよう」、「探究」を対象としている。

(※3) 調査項目⑤の「興味・関心や学習意欲を
高める内容を
取り上げている箇所数」については、東書は「読み物」、「D」、「章末資料」、大日本は「トピックス」、「資料」(ただし、資料・ページの項は除く)、「章末資料」、大修館は「コラム」、「URL」、学研は「もっと広げる深める」、「リンク」、「コラム」を対象としている。

(※4) 調査項目①の「その他資料等」については、口絵1～4において、保健分野及び体育分野が重複している。そのため、保健分野と体育分野のそれぞれの総ページ数の合計が、総ページより多くなることがある。

様式4の調査項目②〔発展的な学習に関する内容を取り上げている箇所数〕の具体的な内容

発行者	内容・題材名	ページ	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	1 心身の機能の発達と心の健康	28	資料	生殖にかかわる機能の成熟
	2 健康と環境	58 59	資料 資料	地球温暖化による健康への影響 循環型社会
	3 傷害の防止	76 82 83 88	本文資料 資料 資料 資料	共に生きる 熱中症の予防と応急手当 AED 自然災害
	4 健康な生活と病気の予防	146 148	資料 資料	がん 免疫と予防接種
	体育編	162 164	資料 問題	オリンピック、パラリンピック 文化としてのスポーツ
大日本	体育編	30 31 31 37 43 44	資料 資料 資料 資料 資料 資料	筋肉の性質と運動能力 筋肉 マイトレーニングをつくろう オリンピックのシンボル 人類はどこまで速く走ることができるのか 語りつがれるオリンピックエピソード
	1 心身の機能の発達と心の健康	66 67	資料 資料	脳と神経 自分らしさを発揮する
	2 健康と環境	82 82 83	資料 資料 資料	体温の調節 循環型社会の実現に向けて 地球規模の環境問題
	3 傷害の防止	93 148	資料 資料	携帯電話と犯罪 熱中症への対応と予防
	4 健康な生活と病気の予防	110 149	資料 発展	ヘルスプロモーション クオリティ・オブ・ライフ
大修館	体育編	11 18 25 30	資料 資料 資料 資料	効果的な学び方を考えよう 体力を高める運動の計画を立てよう ソーシャルスキルを高めよう 運動やスポーツと脳
	1 心身の機能の発達と心の健康	49	資料	健康相談コーナー
	2 健康と環境	71 83 84	資料 資料 資料	熱中症の応急手当 地球温暖化 わが家の二酸化炭素排出量を調べてみよう
	3 傷害の防止	93 93 106	資料 資料 資料	ネットワーク利用犯罪から身を守る 危険予測 AEDの使い方を練習してみよう
	4 健康な生活と病気の予防	115 117 119 125 143 149 151	資料 資料 資料 資料 資料 資料 資料	自分の身体活動レベルを計算してみよう 食アレルギやせている？ 太っている？ がんに対するさまざまな取り組み インフルエンザについて 対症療法と原因療法 薬に詳しいの常識
学研	2 健康と環境	37 49 50 53	脚注 資料 資料 資料	放射線と健康 放射線と健康 人類と地球の未来のために 放射線と健康
	3 傷害の防止	61 75 77 80 80 81	脚注 資料 脚注 資料 資料 資料	自転車事故と損害賠償 AEDを用いた手当 熱中症の手当 離岸流 自転車事故と運転者の責任 熱中症の手当
	4 健康な生活と病気の予防	86 98 99 124 125	脚注 資料 資料 資料 資料	臓器提供 がん アレルギ 脳死と臓器移植 インターネットと健康
	体育編	168	資料	スポーツと環境

様式4の調査項目⑥〔体育分野と保健分野の関連を踏まえた内容の箇所数〕の具体的な内容

発行者	内容・題材名	ページ	取扱い方	タイトル・主な内容	
東書	1 心身の機能の発達と心の健康	21	リンク	心と体のかかわり	
	3 傷害の防止	77 84	リンク リンク	地域のきずな R I C E	
	4 健康な生活と病気の予防	114	リンク	運動の効果	
	体育編		94	リンク	運動やスポーツの体への効果
			95	リンク	運動やスポーツの心への効果
				リンク	心の健康
				リンク	運動と健康
			97	リンク	運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす影響
			99	リンク	運動中の注意
			リンク	水分補給	
		リンク	運動後の注意		
		リンク	事故への備え		
	101	リンク	運動やスポーツを安全に行うための練習計画の立て方		
	161	リンク	人々を結びつけるスポーツの文化的な働き		
大日本	体育編	4	リンク	運動やスポーツの必要性和楽しさ	
		21	リンク	身体機能と体力の維持向上	
		21	リンク	肥満の予防効果	
		22	リンク	運動やスポーツが心にあたえる効果（心と体のかかわり）	
		22	リンク	運動やスポーツが心にあたえる効果（運動と健康）	
		25	リンク	安全な運動やスポーツの行い方	
		25	リンク	運動中に発生した傷害や事故への対処（R I C E）	
		25	リンク	運動中に発生した傷害や事故への対処（応急手当、A E D）	
	1 心身の機能の発達と心の健康	49 63 65	リンク リンク リンク	身体機能の発達と運動 ストレスへの対処 心と体の健康	
	2 健康と環境	71	リンク	熱中症	
	4 健康な生活と病気の予防	107	リンク	応急手当	
		114	リンク	運動と健康（運動やスポーツが体にあたえる効果）	
		114	リンク	運動と健康（運動やスポーツが心にあたえる効果）	
	120	リンク	生活習慣病の予防		
大修館	体育編	15	参照	肥満を予防し、健康を増進させる	
		27	参照	熱中症	
		27	参照	R I C E	
		28	参照	自然環境への注意	
	1 心身の機能の発達と心の健康	45 54 60	参照 参照 参照	運動やスポーツは呼吸・循環の働きを高める 社会性の発達 心と体はかかわっている	
	3 傷害の防止	102	参照	打撲、捻挫、脱臼、骨折などのけがをしたとき	
	4 健康な生活と病気の予防	112	参照	運動と体の発達	
		113	参照	運動と心の健康	
114		参照	運動のしすぎによるけがや障がい		
学研	3 傷害の防止	80 88	関連 関連	離岸流 運動と健康	
	体育編	148	関連	スポーツが体に及ぼす効果	
		149	関連	スポーツが体に及ぼす効果	
		153	関連	野外スポーツの安全な行い方	
		168	関連	スポーツと環境	

様式4の調査項目⑦〔実験や実習を取り入れた学習を取り上げている箇所数〕の具体的な内容

発行者	内容・題材名	ページ	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	2 健康と環境	49	実習	照度の測定
	3 傷害の防止	81 82 83 84 85	実習 実習 実習 実習 実習	心肺蘇生の方法（胸骨圧迫） 心肺蘇生の方法（気道の確保、人工呼吸） AED(自動体外式除細動器) 直接圧迫止血法 包帯法
大日本	3 傷害の防止	102-	実習	反応の確認から心肺蘇生の仕方 出血があるときの外傷の応急手当 鼻出血 直接圧迫止血法 包帯の巻き方 外傷の応急手当
		103		
		104	実習	
		104	実習	
		105	実習	
		105	実習	
大修館	3 傷害の防止	101	実習	出血を止める練習をしよう 包帯を巻く練習をしよう 患部を固定する練習をしよう 胸骨圧迫を練習してみよう AEDの使い方を練習してみよう
		101	実習	
		103	実習	
		104-	実習	
		105		
		106	実習	
学研	1 心身の発達と心の健康	23	実習	自分の気持ちを上手に伝える
	2 健康と環境	39	実習	照度計を使って、学校内のいろいろな場所の明るさを測定してみよう
	3 傷害の防止	73	実習	通報の仕方 心肺蘇生法 傷病者に意識がない場合の手当 直接圧迫止血法 包帯法 巻き包帯（腕） 包帯法 三角巾（足を包む） 包帯法 ネット包帯 固定法 前腕の骨折の場合 固定法 足首の捻挫の場合
		74-77	実習	
		78	実習	
		78	実習	
		79	実習	
		79	実習	
	4 健康な生活と病気の予防	109	実習	誘いを断る

様式4の調査項目⑧ [緊要な課題に対応した内容のページ数] の具体的な内容

発行者	内容・題材名	ページ数	ページ
東書	薬物乱用防止	7	126～131 147
	医薬品に関する内容	3	126 142～143
	後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症	4	136～139
	生活習慣病の予防	7	118～121 144～146
	食育	10	口絵6～8 112～113 117～121
	防災及び二次災害によって生じる傷害	10	口絵5～6 73～77 87～89
	オリンピック・パラリンピック	13	口絵1～4 97 156～163
大日本	薬物乱用防止	4	126～129
	医薬品に関する内容	2	140～141
	後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症	5	134～137 145
	生活習慣病の予防	8	21 34 110 118～121 144
	食育	5	口絵5～6 112～113 117
	防災及び二次災害によって生じる傷害	6	94～99
	オリンピック・パラリンピック	18	口絵2 7 10～11 16～17 23 35～44 57

発行者	内容・題材名	ページ数	ページ
大修館	薬物乱用防止	7	口絵7 43 134～137 155
	医薬品に関する内容	4	148～151
	後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症	6	142 144～147 153
	生活習慣病の予防	10	16 42 110 112 117 122～125 153
	食育	6	15 116～119 124
	防災及び二次災害によって生じる傷害	6	口絵6 94～97 108
	オリンピック・パラリンピック	10	口絵1～2 31 33～37 39～40
学研	薬物乱用防止	6	104～109
	医薬品に関する内容	3	120～121 125
	後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症	9	86 111 114～118 164～165
	生活習慣病の予防	7	86～87 94～97 99
	食育	4	口絵4～5 90～91
	防災及び二次災害によって生じる傷害	12	1～3 57 59 66～71 154
	オリンピック・パラリンピック	17	口絵1 3 132～133 137 144 147 158～159 162～163 166～167 175～178

様式4の調査項目⑨ [体力づくりや体力測定の方法等を取り上げている箇所数] の具体的な内容

発行者	内容・題材名	ページ	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	体育編	40-41 100 101 102 172- 175	資料 資料 資料 資料 資料	スポーツライフ 体力の要素 練習計画の立て方 巧みな動きをするための3つの要素 新体力テスト
	4 健康な生活と病気の予防	115	資料	健康づくりのための運動量の目安
大日本	体育編	26-27 28 30 31 115	資料 資料 資料 資料 資料	体力の要素 新体力テスト ニコニコペース走 マイトレーニング 健康づくりのための身体活動量の目安
	4 健康な生活と病気の予防	114 115	図 発展 資料	体力要素と体力を高める運動の例 体力を高める運動の計画を立てよう 新体力テスト
大修館	体育編	16-17 18-19 20-21	図 発展 資料	体力要素と体力を高める運動の例 体力を高める運動の計画を立てよう 新体力テスト
	4 健康な生活と病気の予防	114 115	図 発展	身体活動で消費するエネルギー 自分の身体活動レベルを計算してみよう
学研	1 心身の発達と心の健康	13	資料	持久力を高めるための運動の仕方の例
	4 健康な生活と病気の予防	89	資料	中学生・高校生の運動指針
	体育編	148 154 155 171 172- 173	コラム 資料 資料 資料 資料	体力測定と体力 体力の必要性 練習計画を立てよう 体力の測定とその活用 新体力テストの行い方

様式4の調査項目⑩ [北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数] の具体的な内容

発行	内容・題材名	ページ	取扱い方	タイトル・主な内容
東書		㊦1	写真	スポーツ雪合戦 (壮瞥町)
	体育編	37 41	資料 写真	北海道マラソン 京谷和幸選手(元車椅子バスケットボール選手)
大日本	3 傷害の防止	97	資料	北海道南西沖地震
	体育編	38	写真	葛西紀明選手 (スキージャンプ選手)
大修館		㊦1	写真	第11回オリンピック冬季大会(1972/札幌)
	3 けがの防止	92	写真	子ども110番の家 (羽幌町)
	4 健康な生活と病気の予防	153	写真	保健福祉センター (帯広市)
	体育編	37	トピック	第11回オリンピック冬季大会(1972/札幌)
学研		㊦1	写真	札幌ウインターミュージアム
	体育編	144 148 177	写真 写真 写真	高梨沙羅選手 (スキージャンプ選手) 体力向上の取り組みの様子 (札幌市) 第11回オリンピック冬季大会(1972/札幌)